

5月号

第480号

いっしん

令和7年(2025年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP) <http://kajikikon.konjiki.jp/> 《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

かへりみる
心のなきぞ
憐れなる
身にふりかかる
刃と知らずや
甘木親教会
初代教会会
安武松太郎師御教

立教166年／小倉教会布教140年／甘木親教会布教121年／加治木教会布教74年



甘木教会 安川野営場の竹林

「青年の集い」に合わせて、信徒の皆さんが「筍掘り」行事を催され、参加の青年たちは筍の掘り方を教えてもらい、お昼には婦人会の皆さんが筍ご飯も準備して下さいました。

甘木親教会

手続き・関係教会 青年のつどい

開催される

四月十二日(土)・十三日(日)甘木親教会において、手続き・関係教会「青年の集い」が開催されました。

この数年コロナ禍などのため中止されていましたが、甘木親教会「青年の集い」が六年ぶりに開催され、二十名ほどが集い加治木教会からも二名参加させていただきました。

第一日目の夕方十七時三十分から開会式が行われ、まず親厚会を代表して安武和孝先生(筑紫本郷教会会長)のご挨拶があり「甘木親教会にある信心の心を毛穴からでも頂いて帰っていただきたい」とお話になりました。

安武道義親先生は、ご教話で、

「若い皆さんが各教会で元気な信心をおかけ頂いてもらいたいものです。信心はみ教えを知っているだけではなりません、み教えが身について『信心は私(自分)がさせていただけます』というようにならせてもらいたいも

(次のページにつづく)

甘木親教会「青年の集い」…P1～2

甘木親教会御大祭参拝…P4～5

御本部御大祭参拝…P3

『私の頂く安武松太郎師』…P6

教会行事…P8



安武道義親先生ご教話



親先生を囲んで記念撮影



信徒の皆さんの準備で筍掘りが始まる

のです。信心は今日まで頂いてきた親神様のお恵みというおかげを自覚し、お礼を申して行くことができる稽古を進めることです。人生には思い通りの事ばかりではありません。どんな時にもお礼を申すことができ、ゆるがないよう、若い人たちがそれぞれの教会で壮健(まめ)な時に信心を進めてさせていただいて行きましよう。」とお話しされました。

この日、入浴後、弥生会館で夕食を兼ねた懇親会があり、参加者全員が順に自己紹介をして歓談をさせていただきました。



会食時の自己紹介

第二日目の朝は、ご祈念に出らせていただき「安武松太郎師教語」での研修があり、朝ご祈念後六時過ぎから、みちわけ会館研修室で安武光太郎先生(人吉教会長の発表を聴かせていただき質疑などもさせていただきました。

この後、参加者一同で朝食を頂き、午前九時からは、甘木教会野営場に移動して筍掘り体験をさせていただきました。

甘木教会のご信者さん方が道具の準備をされ、掘り方をご指導をしてお下さり、参加者一同竹林に差し込む爽やかな朝陽を浴びて、自然の中で貴重な体験をさせていただき、鍬で土を掘り要領よく鍬先で切り出し、けっこう体力の要る筍掘り体験ができました。昼には甘木教会へ戻り、弥生会館食堂で、婦人会の皆さん方が炊いて下さったあった旬の筍ご飯に舌鼓を打ち、その場で閉会式があり解散となりました。

甘木親教会親先生はじめ多くのご信者さん方のお祈りとご尽力を肌身で感じた「青年の集い」となりました。

御本部 三月二十九日(土)～三十日(日)

天地金乃神大祭

参拝

九州全域をはじめご霊地にも桜が咲きだし、天地のお恵みお働きの満ちあふれる春の訪れを拝ませていただきながら、参拝のおかげを蒙らせていただきました。

御本部天地金乃神大祭第一日は、三月二十九日(日)午前十時から、教主金光様ご祭主のもと麗しくご祭典が仕えられました。

祭典前講話は、新田原教会(福岡県行橋市)長の鬼塚もつき先生で「今がいちばん今を喜び」という講題でお話しされました。

また、前夜に修徳殿で催されました「吉備舞の夕べ」では、吉備舞や典樂にお取り組みになられてある教師・信奉者、またその子弟が日ごろ重ねてある稽古の成果を発表され、感想を尋ねられると、素直に「緊張しました」などと答えが返ってきていました。



ご祭典後、会堂前で記念撮影
多良木教会・加治木教会 参拝者で



教主金光様ご祭典にて祭詞をご奏上



光風館前のしだれ桜



最後に舞人がならび、インタビュー

「吉備舞の夕べ」は、鹿児島地方の典樂講習会に何度もおみえになられた先生方も御用され、典樂についての深い意味合いや、典樂の稽古・御用をとおして信心の成長がはかられている、各教会のようすも伺える催しです。

これから全教の教会で、天地金乃神御大祭が仕えられます。共々に、御本部広前のご神徳を仰ぎ頂かせていただき、加治木教会の広前においても(五月十八日)、天地金乃神様のご神願である、神も助かり氏子も立ち行く「神人の道」が現れる信心を求め進めさせていただきましょう。

(御大祭奉迎 信行期間 五月七日～十六日)

甘木親教会

四月二十五日(金)

天地金乃神御大祭

仕えられる

春爛漫の季節を迎え、天地の親神様のみ恵み・み働きが生き生きと躍動し、花々は気高く尊く生きよと語りかけているような季節の中、甘木親教会では、天地金乃神御大祭がお仕えになりました。



親先生に教話



献血車が訪れ体育館前にて実施



ご祭典は、安武道義親先生ご祭主のもと、出社・関係教会の先生方四十数名の祭員でお仕えになりました。ご祭典後、安武道義親先生のご教話を拝聴させていただきました。ご教話では、次のような要旨のお話がありました。

◆◆◆◆◆

居間に掲げさせていただいております、今から十三年前、還暦のお祝いの時私の知らないうちに、五代金光様からお書き下げを頂き、それを誕生日プレゼントとして頂きました。それには、

『元氣な心で信心せよ』

とお書き下されてあります。

また、七十才の古希のお祝いの時に親厚会（甘木教会出社教会の会）の皆さんで、今の教主金光様からお書き下げを頂かれ、そのお言葉は、

『今月今日 私が信心させていたいただきます』

です。今日は改めて、見らせていただいたようなことでした。

初代親先生が晩年「毎日信心が進むことをお願いしておる」とあるこ

婦人の信者さんにお話ししたということ。

世の中には、神徳の中に生かされておるといふことをわからない人が多いので「お天道様のお照らしもおかげ、雨が降られるのもおかげ、人間はおかげの中に生かされている」とみ教え下されてありますが、自分の都合の良いことになれば有り難い、そうでないと有り難くないでは、このお道の信心ではありません。

教祖様は、天地の道理をみ教えくださっており、その天地のお働きの中に生かされていることをわからせていただき、改まらせていただいております。おかげを頂かれる人があって、今日の甘木教会・手続きの教会があります。

信心を進めて改まり、言うこともすることも信心になるように、信心を進めさせていただきたいものであります。

また、今年は九州布教百四十年で、小倉教会では布教百四十年記念大祭が十月二十日にお仕えになられます。初代は「身を忘れ家を忘れて道のためつくす心ぞ真なるらむ」とみ教

えております。どんな御用もそのような真の心でさせていたたくのは難しいものです。〈自分がいっしん〉という心になり、真心でできにくいものです。

御用とは「おん用いられる」と書きます。神様から使われるということでしょうが、神様を自分のイイように使ってしまうことになっているかもしれません。私自身が真の信心にならせていただきたいものであります。



加治木教会記念祭に向け

バンド隊の育成に

とりくもう！

バンド隊の練習は、昨年少し取り組ませていただきましたが、現在は休止中です。

この先、バンド隊の活動をつづけていくにも、楽器が十分にありません。

そのため、楽器が不要になった施設や団体、もしくは個人、さらにはその入ルートなど、情報をあせぐください。また、気をつけておいてください。



感 詠 (教会長)

種まきて芽吹く命も土や水

季節のなくば双葉も出らず

向日葵の双葉顔出し夏思ひ

膝に掛け物臍月一日

苗代の頃まで寒さ残ること

古人は伝えておりぬ

青年の集い久々開かれて

新しく見る若者の顔

『私のいただく安武松太郎師』

(矢野政美著 昭和五十六年
十二月発行)

3、学院入学当時の思い出

昭和二十二年五月三日に親教会を
発たせていただき、金光教学院に入
学させていただくこととなり出発の
前日、入学生五名恩師のお部屋で、
門出のお祝いの宴を開いていただき
ました。



安武松太郎師

当時は、物資の不足していた時で
ありましたが、それにもかかわらず、
お心尽くしの膳部が整えられ御祝
いの肴までついており、只々、恐縮す
るばかりでありました。

見れば私の膳部の前に「御選別」

と書かれた金一封が置かれてある。

私は「これは恩師が、私どもの入
学を祝って下されたものだ」と思い、
代表して御礼を申し上げねばと思い
つつも、堅くなつてつい御礼の言葉
が口から出ませんでした。

すると、入学についての心得を語
られた恩師が、私に向かって「矢野
さん、あんたの膳部の前に私の志の
御選別を上げておる。あんたが一番
年上であるが、皆に代わってこうし
て御饞別を頂きまして有難うござい
ますと、お礼を申すくらい心がな
くてどうするか」と戒められました。

私は、顔を真っ赤にして頂くご馳
走を味わう余裕ありませんでした。

その後、このことを省みさせてい
ただくと、恩師は、いくら心で有難
いと感じても、言葉に表し、行動に
表させていただかねば思わぬと同じ
ことであると、信心の大切な要点を
み教え下されたものと、事柄を通し
てすかさず教え導き下さるみ思いを
有難く感じさせていただいたような
ことでした。

学院在学中、恩師が本部の御用の
ためにご霊地に参拝されたとき、甘

木教会在籍の学院生数名は、連れ立
ってご投宿の谷口屋（のち金光会館、
現在は藤井呉服店前公園に）へご挨拶
にお伺いしました。

恩師は暖かい面持ちでお迎え下さ
り、励ましのお言葉を頂きました。

私は、その夜学院宿舎を抜け出し
て、恩師のお部屋へ行き、按摩のお
かけを頂きました。

元来の不器用者で、按摩が按摩に
なっていないのを恩師は黙ってお受
け下さり、一時間ばかりで下がらせ
ていただこうとしますと、恩師は「矢
野さんは、按摩は下手だが、その気
持ちがうれしい」とねぎらって下さ
いました。

(つづく)

来年、令和八年は加治木教会布教七十
五年のお年柄で、五月には記念大祭をお
仕えさせていただくことに致しており
ます。その記念事業として『わたしのい
ただく安武松太郎師』（矢野政美著）を
加除訂正し、若い人たちにも読みやすい
言葉づかいに改め、再版させていただく
ことを考え準備を進めております。

ご霊神様のおまじり日

五月

平地ヨシ子之霊神(1日)昭和18年
 松田俊夫之霊神(3日)昭和20年
 福元久伸之霊神(5日)平成9年
 牧野伊勢次郎之霊神(5日)平成20年
 溝口孝治之霊神(5日)平成25年
 信國道雄之霊神(6日)平成16年
 信國道子之霊神(10日)平成27年
 田中恵之霊神(10日)平成29年
 庄村ヒデ之霊神(12日)平成12年
 津上國臣之霊神(14日)平成18年
 吉屋紀元之霊神(20日)平成29年
 向江喜右衛門之霊神(20日)昭和54年
 中園千恵子之霊神(23日)平成25年
 向江ハツギク之霊神(28日)昭和47年
 須藤実行之霊神(29日)平成13年



「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。
 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前で霊祭をお仕えし、玉串の奉てんを準備しています。」

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただく。

※安武松太郎教話集第十集の内容を参考にしてあらわしています。

今年も

「チャレンジカード」に

とりくもう!

少年少女会「チャレンジカード」は、5月から7月までの、信心の「取り組み表」です。

※大人は「信行取り組み表」に

チャレンジしましょう! (7月頃)

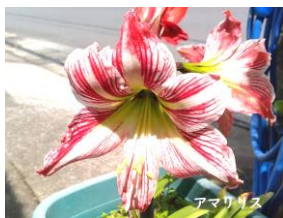


あしあと

加治木教会行事記録

4月

- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
併せて 勸学祭
- 3 (木) 甘木親教会参拝日(予定)
- 5 (土) 中野重子刀自五十日祭(宅祭)
- 9 (水) 清掃御用 10時
- 10 (木) ●大神月例祭 10時半
生神祭
- 12 (土) 13 (日) 甘木親教会 青年の集い
(日) 多良木教会御大祭 11時
- 16 (水) 連合会執行部会 十時半 青年会
- 20 (日) 大口教会 御大祭 12時
- 21 (月) 清掃御用 10時
- 22 (火) ●月例祭・共励会 13時半
- 24 (木) 甘木親教会 壮年部会(教師)
- 25 (金) 甘木親教会 御大祭
- 28 (月) 教諭師御用
- 29 (祝火) 若松教会130年記念大祭
- 30 (水) 清掃御用 10時



五月十八日(日) 午前十一時より
加治木教会

天地金乃神御大祭 奉仕

ご祭典後ご教話

講師 大口教会長

安武秀信先生

《御大祭》

五月十日(土) 11時 人吉教会

加治木教会の十日の月例祭は

十一日に変更しております。
5月のみ

六月二十二日(日) 午前十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

布教七十四年記念祭 奉仕

※祭典後、教話。

◆五月九日は、少年少女全国大会の、光風館の宿泊申込日です。参拝を希望される方は、教会までお知らせ下さい。

以後の申し込みは、金光学園の教室の臨時宿泊所となります。

教会行事

5月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (祝・土) 少年少女会 野外調理
- 8 (木) 甘木親教会布教記念祭
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) 光風館予約日(11時 電話予約)
- 10 (土) 人吉教会御大祭 11時
- 11 (日) ●月例祭(主神金光大神様) 10時半
- 17 (土) 準備御用 10時
- 18 (日) ●加治木教会御大祭 11時
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭・共励会 13時半
- 25 (日) 新田原教会 記念大祭 11時
- 27 (火) 28 (水) 甘木親厚会教会巡拝
- 27 (火) 甘木親先生・出社先生方 28日、加治木教会訪問
- 31 (土) 清掃御用 10時

五月七日～十六日

御大祭奉迎 信行期間

ご祈念・研修 午前五時三十分

・午前十時

6月

- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (火) 親教会参拝日(参拝未定)
- 8 (日) 御本部教団独立記念祭(拝遠)
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 10 (火) ●月例祭(主神金光大神様) 10時半
- 11 (水) (教区)教会長教師研修会(鹿児島教会)
- 14 (土) 15 (日) 信徒部教区委員会(果内)
- 17 (火) 清掃御用 10時
- 22 (日) ●月例祭・共励会 13時半
- 併せて 布教74年記念祭 10時半
- 24 (火) (連合会主催)教師研修会(加治木)
- 26 (木) (親教会)教師婦人部会
- 29 (日) 清掃御用 10時
- 30 (月) 上半期感謝祭 10時半

《未定行事》

※連合会 青少年育成 企画会議



ゼラニウム

勧学祭が

仕えられました

四月一日、勧学祭がつかえら
れ、今日まで成長させていただく
ことができ、元気に、勉学にはげ
むことが出来る、おれとお願いを
させていただきました。

祭詞は、小学生にもわかりや
すい読み方でした。

また、参拝の子ともたちみ
んなが、玉串奉てんをさせていた
だき、祭典後、小学校新入学の
福元雄人君、中学校入学の有蘭
彰真君には記念品が贈られ、い

つも少年少女会の出席にはげん
でいる皆にお直会がさげられま
した。
これからも、元気に学校生活、
家庭生活、社会生活のなかで、お
役に立つ人へと育てていただいて
信心を成長させていただいてい
くことをしよう。



チャレンジカード

がんばっていますか？

五月一日から、七月十五日ま

で、親子で取り組むチャレンジカ

ード「あいさつ」「や」「おてつだい」「や、

いろんな稽古にはげみましょう！

第18回少年少女全国大会に

向けての取り組みです。

信心の稽古に、まごころをこ

めて取り組んだチャレンジカード

を神様に金光様おそなえさせて

いただきますよう！

